



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東  
 コード番号 7228 URL <https://corporate.daytona.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 織田 哲司  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画室長（氏名） 杉村 靖彦（TEL）0538（84）2200  
 半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	6,838	1.4	769	△13.7	795	△8.4	554	△4.9
2023年12月期中間期	6,745	△3.2	892	△7.8	868	△13.9	582	△15.2

（注）包括利益 2024年12月期中間期 582百万円（△3.4%） 2023年12月期中間期 603百万円（△13.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	233.70	223.64
2023年12月期中間期	246.27	235.64

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	10,639	7,971	74.0
2023年12月期	10,331	7,656	73.2

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 7,873百万円 2023年12月期 7,563百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	121.00	121.00
2024年12月期	—	0.00			
2024年12月期（予想）			—	129.00	129.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,413	3.2	1,772	4.4	1,784	2.0	1,214	2.8	512.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社(社名) DAYTONA Motorcycles、除外社(社名)  
 Philippines Inc.
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	3,604,600株	2023年12月期	3,604,600株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	1,230,210株	2023年12月期	1,235,970株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	2,370,845株	2023年12月期中間期	2,365,004株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、経済活動の正常化とともに企業業績は総じて改善傾向にあるものの、円安の進行等に伴う物価上昇により、個人消費は浮揚力に欠ける状況が続いております。

また、不安定な世界情勢を背景に国内外において資源・エネルギー価格や原材料価格の高騰による影響を受けており、企業活動を取り巻く環境は、先行き不透明な状況が懸念されております。

二輪車業界においては、アフターコロナにおける経済活動の正常化により、「密の回避」に捉われない余暇利用の選択肢が増加し、これまでバイク需要に向かっていた消費が分散化され、さらに物価上昇の煽りを受け、趣味嗜好への消費抑制の動きが顕在化してまいりました。

このような状況のもと、当社グループでは中期経営方針として掲げた「変革と成長」及びその利益目標の達成に向け、新商品開発や既存品のリニューアル開発に向けて邁進してまいりました。

販売面については、大口取引先向け販売が年初における在庫調整からは復調してきたものの、完全な回復までは至らず、さらに新商品投入遅延等もあり、事業の主体である国内拠点卸売事業及び小売事業は前年同中間期を下回る販売状況となりました。

この結果、当中間連結会計期間の連結売上高は68億38百万円(前中間連結会計期間比1.4%増)、営業利益は7億69百万円(前中間連結会計期間比13.7%減)、経常利益は7億95百万円(前中間連結会計期間比8.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は5億54百万円(前中間連結会計期間比4.9%減)となりました。

## [国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業では、車体を保護するエンジンガードやボディカバー、並びにライダー自身を守るプロテクター関連の販売は前年を上回ったものの、全体として第1四半期における流通各社の在庫調整や高価格帯商品の販売不振を第2四半期で挽回するまでには至らず、売上高は前年同中間期を下回りました。

また、利益面では為替相場の円安進行に伴う仕入コストの上昇により利益率が低下し、この結果、売上高は47億65百万円(前中間連結会計期間比4.4%減)、セグメント利益は4億25百万円(前中間連結会計期間比34.1%減)となりました。

## [アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業では、インドネシアにおける販売網の整備による商品供給の増大とともに、ブランドの認知が一層進み、現地のスクータータイプのオートバイ用商品の販売が好調に推移し売上高、利益ともに順調に伸ばいたしました。一方で、想定を超える需要増加に対する供給力の増強に向けて、サプライヤー開拓、物流改善および管理体制強化等に取り組んでおります。また、本年2月に設立したフィリピンの子会社については、輸入ライセンス等の許諾待ちで、営業開始に向けた準備を行っております。

この結果、売上高は8億26百万円(前中間連結会計期間比69.8%増)、セグメント利益は2億31百万円(前中間連結会計期間比77.8%増)となりました。

## [小売事業]

小売事業では、ユーザーの消費行動の変化により来店客数の減少、高額カスタムニーズの減少などにより前年同中間期を下回る状況となりました。なお、小売事業においては、サービス需要が高まっており、PIT作業体制を強化してまいりました。

この結果、売上高は11億22百万円(前中間連結会計期間比3.3%減)、セグメント利益は56百万円(前中間連結会計期間比23.4%減)となりました。

## [その他]

その他事業の太陽光発電事業では、安定的な日照時間の確保により売上高、利益ともに前年同中間期程度の業績となりました。リユース販売事業では、中古部品販売は前年同期間をやや下回りましたが、仕入および販売方法の見直し等による粗利率の改善が進み、利益面では前年同中間期を上回りました。

この結果、その他事業での売上高は1億72百万円(前中間連結会計期間比3.8%減)、セグメント利益は29百万円(前中間連結会計期間比45.1%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3.7%増加し、81億12百万円となりました。これは、現金及び預金が1億42百万円、棚卸資産が1億41百万円増加したことなどによります。

### (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.9%増加し、25億27百万円となりました。これは、無形固定資産が32百万円、投資その他の資産が35百万円減少しましたが、有形固定資産が90百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加し、106億39百万円となりました。

### (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3.4%増加し、23億68百万円となりました。これは、買掛金が2億69百万円増加したことなどによります。

### (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ21.8%減少し、3億円となりました。これは、長期借入金が82百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、26億68百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4.1%増加し、79億71百万円となりました。

## ・キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ1億35百万円増加の16億47百万円となりました。当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

棚卸資産の増加による支出が1億25百万円、法人税等の支払額による支出が2億67百万円となりましたが、税金等調整前中間純利益が7億95百万円の計上、仕入債務の増加が2億63百万円となったことにより、当中間連結会計期間における営業活動により得られた資金は7億20百万円(前年同中間連結会計期間に得られた資金は1億63百万円)となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が1億48百万円となったことにより、当中間連結会計期間における投資活動により使用された資金は1億90百万円(前年同中間連結会計期間に使用された資金は75百万円)となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出が1億14百万円、配当金の支払額が2億86百万円となったことにより、当中間連結会計期間における財務活動により使用された資金は4億3百万円(前年同中間連結会計期間に使用された資金は1億19百万円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日付の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想については現時点での変更はありません。

第2四半期までの状況は国内拠点卸売事業が見込みをやや下回る進捗となっておりますが、アジア拠点卸売事業が大きく伸長しており、第2四半期末現在では想定していた売上高、各利益とも連結業績予想を上回る進捗となりました。引き続きこの状況は継続するものと想定しております。

なお、現段階において、為替の変動、国内経済、ユーザーの消費動向、天候など環境変化の不確実な要素も多く先行きが見通しにくい状況ですので、今後の状況変化により、業績への大きな影響が推測される場合には業績予想を修正してお知らせいたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,725,428	1,868,034
受取手形及び売掛金	1,602,659	1,511,268
棚卸資産	4,040,400	4,181,746
その他	463,594	556,813
貸倒引当金	△5,951	△5,863
流動資産合計	7,826,131	8,112,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	469,788	461,365
土地	864,649	978,675
その他(純額)	367,041	351,945
有形固定資産合計	1,701,478	1,791,985
無形固定資産		
のれん	260,215	227,688
その他	109,051	108,647
無形固定資産合計	369,266	336,336
投資その他の資産		
その他	438,282	402,813
貸倒引当金	△3,445	△3,445
投資その他の資産合計	434,836	399,367
固定資産合計	2,505,582	2,527,689
資産合計	10,331,713	10,639,689

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	398,945	668,586
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	226,919	195,180
未払法人税等	245,344	184,767
賞与引当金	79,542	79,223
株主優待引当金	25,581	530
その他	564,884	489,838
流動負債合計	2,291,218	2,368,126
固定負債		
長期借入金	350,027	267,047
退職給付に係る負債	2,118	3,181
その他	31,619	29,998
固定負債合計	383,764	300,226
負債合計	2,674,982	2,668,352
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	527,073	542,515
利益剰余金	7,259,626	7,527,103
自己株式	△616,986	△614,110
株主資本合計	7,582,170	7,867,963
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△18,894	5,824
その他の包括利益累計額合計	△18,894	5,824
新株予約権	73,956	73,956
非支配株主持分	19,498	23,592
純資産合計	7,656,731	7,971,337
負債純資産合計	10,331,713	10,639,689

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

中間連結会計期間

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,745,040	6,838,297
売上原価	4,028,382	4,173,963
売上総利益	2,716,657	2,664,333
販売費及び一般管理費	1,824,538	1,894,725
営業利益	892,119	769,607
営業外収益		
受取手数料	5,240	5,096
デリバティブ評価益	-	172
為替差益	-	15,028
試作品等売却代	5,234	4,143
その他	6,109	5,717
営業外収益合計	16,584	30,157
営業外費用		
支払利息	5,076	4,084
デリバティブ評価損	33,289	-
為替差損	809	-
その他	1,063	326
営業外費用合計	40,238	4,411
経常利益	868,464	795,353
特別利益		
固定資産売却益	1,309	832
特別利益合計	1,309	832
特別損失		
固定資産除却損	11,035	249
特別損失合計	11,035	249
税金等調整前中間純利益	858,738	795,936
法人税、住民税及び事業税	240,799	206,359
法人税等調整額	31,465	31,439
法人税等合計	272,264	237,799
中間純利益	586,473	558,137
非支配株主に帰属する中間純利益	4,031	4,057
親会社株主に帰属する中間純利益	582,441	554,080

## 中間連結包括利益計算書

中間連結会計期間

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	586,473	558,137
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	17,093	24,832
その他の包括利益合計	17,093	24,832
中間包括利益	603,566	582,970
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	599,462	578,800
非支配株主に係る中間包括利益	4,104	4,170

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	858,738	795,936
減価償却費	74,849	75,919
株式報酬費用	9,202	9,219
のれん償却額	32,526	32,526
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△49	△88
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,822	△318
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	93	881
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△17,509	△25,051
受取利息及び受取配当金	△312	△674
支払利息	5,076	4,084
デリバティブ評価損益(△は益)	33,289	△172
固定資産除売却損益(△は益)	9,726	△583
為替差損益(△は益)	1,801	△1,566
売上債権の増減額(△は増加)	△77,954	102,495
棚卸資産の増減額(△は増加)	△661,671	△125,472
仕入債務の増減額(△は減少)	263,605	263,575
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,342	△41,797
その他	△31,357	△98,386
小計	502,573	990,527
利息及び配当金の受取額	313	679
利息の支払額	△5,362	△3,803
法人税等の支払額	△333,712	△267,293
営業活動によるキャッシュ・フロー	163,811	720,108
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,401	△9,701
定期預金の払戻による収入	2,400	2,400
有形固定資産の取得による支出	△59,871	△148,289
有形固定資産の売却による収入	1,309	896
無形固定資産の取得による支出	△17,516	△36,937
関係会社貸付金の回収による収入	2,100	2,100
差入保証金の差入による支出	△1,410	△2,606
差入保証金の回収による収入	8,227	1,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,162	△190,402
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	197,526	-
長期借入れによる収入	120,040	-
長期借入金の返済による支出	△145,155	△114,719
リース債務の返済による支出	△2,258	△2,258
配当金の支払額	△289,597	△286,083
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△265	△220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,709	△403,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,907	8,879
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,153	135,304
現金及び現金同等物の期首残高	932,136	1,511,898
現金及び現金同等物の中間期末残高	906,983	1,647,203

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	4,918,770	486,494	1,160,797	6,566,061	178,979	6,745,040	—	6,745,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64,245	—	208	64,453	—	64,453	△64,453	—
計	4,983,015	486,494	1,161,005	6,630,515	178,979	6,809,494	△64,453	6,745,040
セグメント利益	645,706	130,440	73,838	849,985	20,461	870,447	21,671	892,119

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユース販売事業であります。

2 セグメント利益の調整額21,671千円は、セグメント間取引消去15,406千円、棚卸資産の調整額6,058千円、固定資産の調整額206千円等が含まれております。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	4,717,659	826,063	1,122,386	6,666,109	172,187	6,838,297	—	6,838,297
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,855	—	—	47,855	—	47,855	△47,855	—
計	4,765,514	826,063	1,122,386	6,713,964	172,187	6,886,152	△47,855	6,838,297
セグメント利益	425,225	231,873	56,559	713,657	29,696	743,354	26,252	769,607

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユース販売事業であります。

2 セグメント利益の調整額26,252千円は、セグメント間取引消去16,781千円、棚卸資産の調整額9,201千円、固定資産の調整額270千円等が含まれております。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。